

主要事業紹介 () は予算額

●夢と創造力にあふれ 未来を拓く人を育むまち

▶結婚新生活支援事業補助金 (480万円)

結婚に伴う住宅取得、賃貸、引っ越し等の新生活における経費に対し補助制度を創設し、新婚世帯を経済的に支援します。



▶出産・子育て応援事業 (1,890万円)

新たに妊娠8カ月ごろの面談(自宅訪問等)を設け、妊婦の方に寄り添いながら、相談支援を実施します。合わせて、経済的支援も行います。

▶学力向上対策事業 (3,083万5千円)

- 「より・E土曜塾」のオンライン授業・オンデマンド配信の活用により、新たに中学校1・2年生を加え、中学校全学年を参加対象とします。
- 小学校算数検定費用の無償化を小学校2年生から6年生までの全児童に拡大し、受検機会の拡大による算数力のさらなる向上を図ります。
- 中学校2・3年生を対象としてきた英検受検の年1回無償化について、中学校1年生も対象とし、英検3級以上の合格率向上を目指します。
- 小学校6年生を対象としている「より・E小学生英語塾」の入塾者の中から希望者に対して英検5級の受検費用を無償とします。

▶男衾中学校長寿命化改修事業 (8億262万3千円)

児童・生徒や保護者などからのアンケート結果等を参考に、行った設計を基に、屋上や外壁の改修、内装の木質化等の長寿命化対策のほか、男衾小学校と接続する渡り廊下の新設などを行い、今後の学校整備のモデルとなるよう工事を進めます。



男衾中学校改修イメージ図

▶城南中学校区小中学校集約化・長寿命化検討事業(300万円)

昨年度の調査検討業務の結果等を活用して、地元住民への説明や対話を重ねて合意形成を進め、城南中学校区の小中一貫教育を推進します。

▶学校給食食材購入事業 (1,200万円)

物価の高騰が子育て世帯の家計にも深刻な影響を及ぼしていることへの対策として、学校給食用食材について公費による購入を増やし、家庭への負担を変えずに、安全・安心で栄養バランスを確保した学校給食を提供します。

●人が集まり活力に満ちた 賑わいあふれるまち

▶地域通貨Yori-Ca(ヨリカ)事業 (1億5,079万4千円)

通年の1%のポイントバックや30%プレミアムポイントキャンペーン、ふかや花園プレミアムアウトレット内店舗の購入レシート提示によるポイント付与等のイベントを開催し、町内店舗等への利用促進と消費拡大を図ります。



▶住宅改修資金補助事業 (800万円)

これまで補助対象住宅ごとに1回としていた補助回数について、当該補助を受けた年度の翌年度から起算して5年経過後に再び補助を受けることができるよう制度を改め、地域経済の活性化につなげるよう取り組みます。

▶空家対策事業 (406万8千円)

民間事業者との相互協力により、空き家所有者が遠隔で相談を受けることのできる窓口の設置や住宅市場への空き家情報の提供を進めるなど、空き家を活用した移住・定住環境の整備に努めます。



●支えあいとふれあいのある 健康長寿のまち

▶地域訪問型健康増進事業 (37万4千円)

町内の事業所等へ訪問し、働き盛り世代や子育て世代を対象に、健康教室の開催や各種検診の受診率の向上を図るなど健康意識の普及啓発と疾病の早期発見に努めます。

▶予防接種事業 (8,800万円)

子宮頸がんワクチンに新たに定期予防接種の対象となる9価ワクチンの接種を合わせ、積極的勧奨を進めます。また、带状疱疹の発症と重症化予防のため、発症率が上昇する50歳以上の町民の方を対象に、新たにワクチン接種への補助を開始します。

▶健康長寿促進事業 (351万8千円)

ラジオ体操教室やノルディックウォーキング教室等を開催するなど、健康的な運動習慣や生活習慣の定着を促進します。



ノルディックウォーキング教室

●安全で環境への配慮と利便性を備えた コンパクトなまち

▶男衾土地区画整理事業 (1億円)

男衾土地区画整理組合が実施する土地区画整理事業に係る公共施設整備費用負担を行い、新市街地として男衾駅東口周辺の都市基盤整備を進めます。

▶住宅密集地延焼危険性調査事業 (530万円)

寄居駅南地区の住宅密集地に延焼危険性調査を実施し、災害リスクの分析や対策の検討に取り組みます。

▶まちなか居住促進事業 (1,020万円)

中心市街地への移住を対象とした「まちなか住宅取得支援補助事業」と、町内への移住を対象とした「定住促進補助事業」の2事業について見直しを行い、前住所要件を廃止し、立地適正化計画に基づく寄居駅周辺、男衾駅周辺の居住誘導区域での住宅新築を補助対象とする「まちなか居住促進補助事業」として再編します。

●悠久の歴史と爽やかな自然の中で 豊かさを感じられるまち

▶鉢形城歴史館常設展示室展示替事業 (3,763万1千円)

常設展示室に新たにデジタル技術を活用した展示手法を導入し、これまでの調査結果を分かりやすく解説するとともに、多くの方に興味を持っていただける展示を目指します。

▶森林林業行政支援事業 (241万1千円)

森林資源の循環に不可欠な伐採・造林の指導、森林経営計画の策定等に関し専門的な知見に基づく支援を受け、森林の保全管理に努めます。

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

行政サービスの利便性向上や地域の課題解決、魅力向上の実現に向け、デジタル技術を活用した次の事業を実施します。

▶議会ペーパーレスシステム導入事業 (335万8千円)

議会のペーパーレス化を推進するとともに、議会運営の効率化を図るため、タブレット端末を導入します。

▶消防団出動指令等アプリ導入事業 (61万4千円)

消防団員の出動指令および動態管理のためのスマートフォンアプリを導入します。

▶デジタル観光推進事業 (2,999万6千円)

寄居駅南口から鉢形公園までの中心市街地周辺地域の回遊性を高めるため、デジタル技術を活用したスマートフォンアプリを開発します。

▶施設予約システム導入事業 (1,973万6千円)

スマートフォン等から公共施設の空き情報の確認や予約ができるシステムを導入します。

